

除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ T25 系統を掛け合わせた品種（食品）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えトウモロコシ「除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ T25 系統を掛け合わせた品種」については平成 21 年 7 月 23 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本品種は以下の表の遺伝子組換えトウモロコシを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

項目	概要	
品 種	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ T25 系統
申請者	日本モンサント株式会社	バイエルクロップサイエンス株式会社
開発者	Monsanto Company	Bayer CropScience
製品の概要	改変 <i>cp4epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性を持つ。	<i>pat</i> 遺伝子の導入によって PAT タンパク質が発現し、除草剤グルホシネートに耐性を持つ。
宿 主	デント種のトウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.)	
挿入遺伝子 (供与体)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> sp. CP4 株由来)	<i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> Tu494 株由来)
選抜マーカー (供与体)	使用していない	使用していない
新たに獲得された性質	除草剤グリホサート耐性	除草剤グルホシネート耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2001 年 3 月 30 日	

3. 利用目的および利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違がない。